



# 【HiT ODBC\_DB2】SQL 開発ツールとの連携

Ver 1.0

2010 年 12 月 24 日

株式会社クライム

## 目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 範囲.....	2
1.1.2. 対象バージョン.....	2
1.2. 更新履歴.....	2
2. Hit ODBC/DB2 のインストール・設定.....	3
2.1. インストール.....	3
2.2. ODBC 接続設定.....	3
3. SQL 開発ツールとの連携.....	7
3.1. 「黒猫 SQL Studio」を使用する場合.....	7
3.2. マイクロソフトの「Access」を使用する場合.....	9

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

### 1.1.1. 範囲

本ドキュメントは、HiT ODBC/DB2 を接続ドライバとして、SQL 開発ツール(黒猫 SQL Studio や Access) から DB2/UDB (Windows 版・Linux 版・AIX 版など) に接続し、データを変更する方法について記載しております。ODBC に対応した SQL 開発ツールであれば、基本何でも構いません。

### 1.1.2. 対象バージョン

本ドキュメントは、HiT ODBC/DB2 の下記バージョンを対象としております。

- HiT ODBC/DB2 6.1.0.0

## 1.2. 更新履歴

版	修正日	修正者	内容
1.0	2010/12/24(金)	K.S	初版

## 2. Hit ODBC/DB2 のインストール・設定

### 2.1. インストール

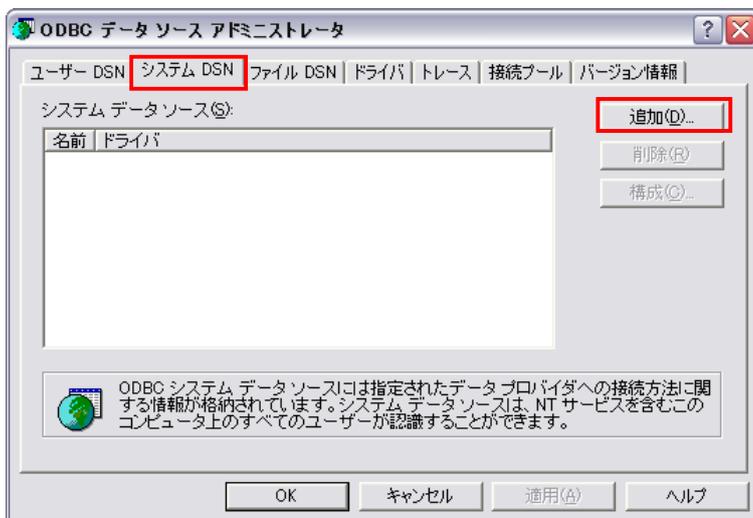
あらかじめ HiT ODBC/DB2 のインストールを済ませておきます。  
HiT ODBC/DB2 は Windows にインストールします。

### 2.2. ODBC 接続設定

スタート→コントロールパネル→管理ツール→データソース(ODBC)を開きます。



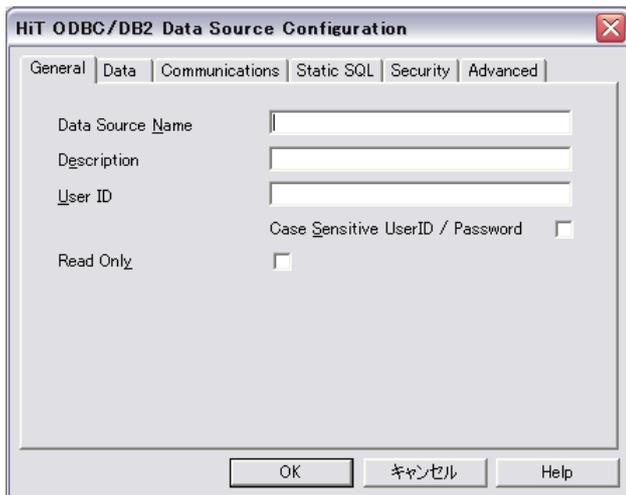
「システム DSN」タブを選択し、追加ボタンを押下します。



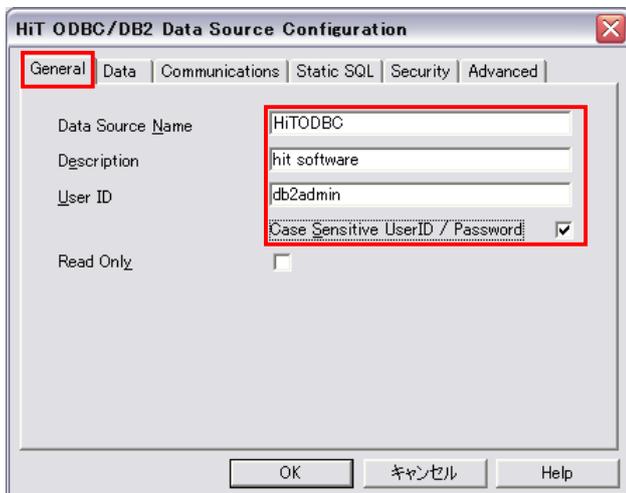
「データソースの新規作成」画面にて「HiT ODBC/DB2」を選択し、完了を押下します。



データソースの設定画面が開きます。



「General」タブを選択し、下記項目を入力します。



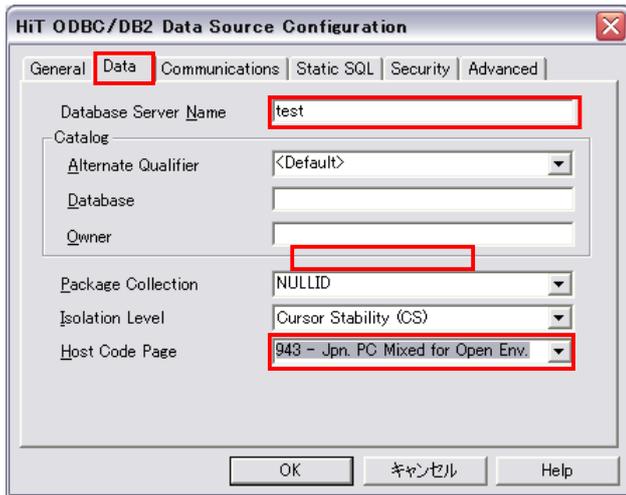
Data Source Name・・・任意の名前

Description・・・内容の説明（省略可）

User ID

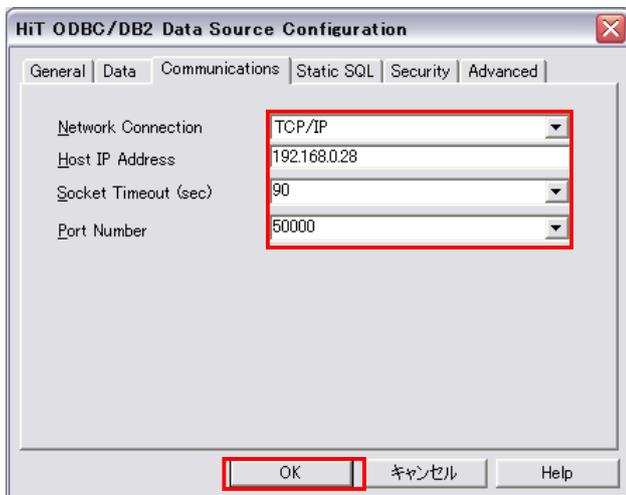
Case Sensitive UserID / Password・・・チェックを入れる

「Data」タブを選択し、下記項目を入力します。



Database Server Name・・・データベース名  
Host Code Page・・・943- Jpn. PC Mixed for Open Env.

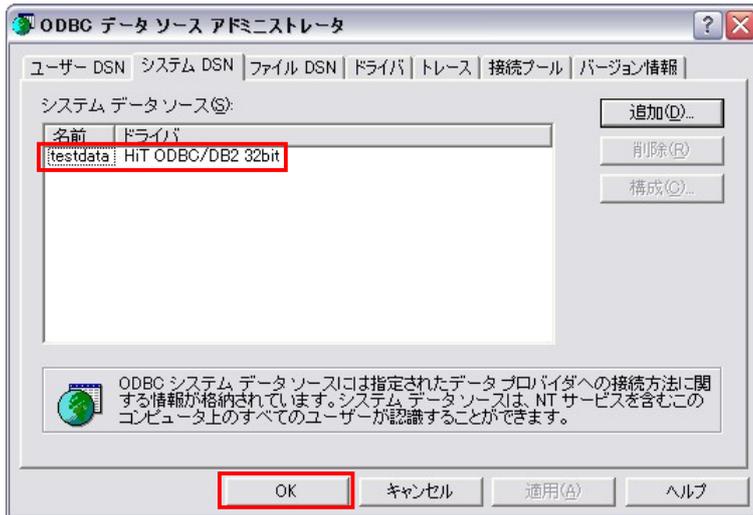
「Communications」タブを選択し、下記項目を入力します。



Host IP Address・・・DB2/USB の接続先ホスト (IIP アドレス)  
Port Number・・・50000 や 446 など (DB2/UDB で設定したポート番号です)

設定が完了したら OK を押下します。

下記のように設定したものが表示されていれば OK を押下して画面を閉じます。

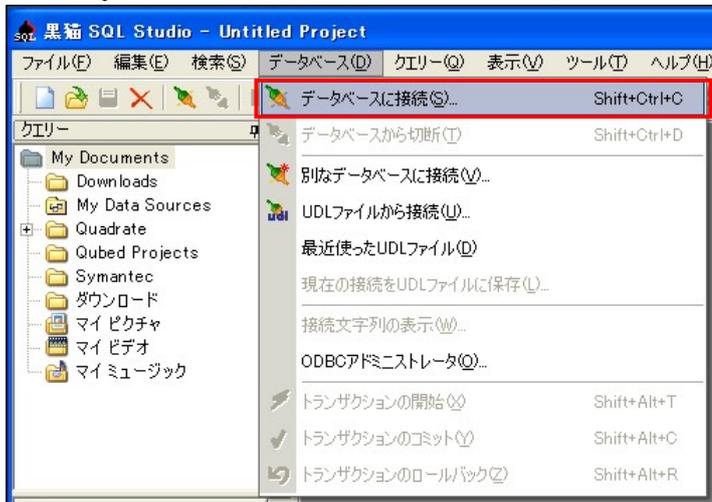


### 3. SQL 開発ツールとの連携

#### 3.1. 「黒猫 SQL Studio」を使用する場合

今回は SQL 開発ツールに『黒猫 SQL Studio』を使用しましたが、ODBC に対応した SQL 開発ツールであれば基本何でも OK です。

黒猫 SQL Studio を起動し、「データベース」→「データベースに接続」を押下します。



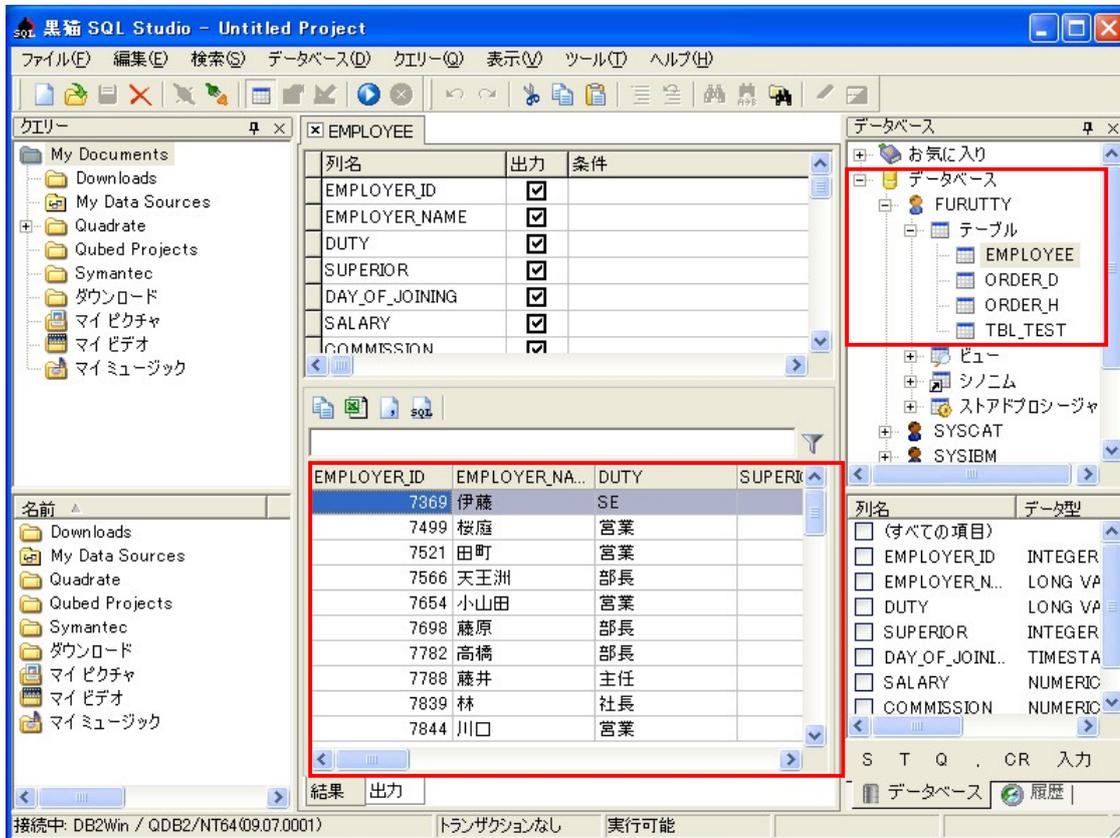
「ODBC 接続」タブを選択し、「ODBC 接続設定」で設定したデータソース名を選択して「接続」を押下します。



DB2/UDB に接続するユーザ名とパスワードを入力します。

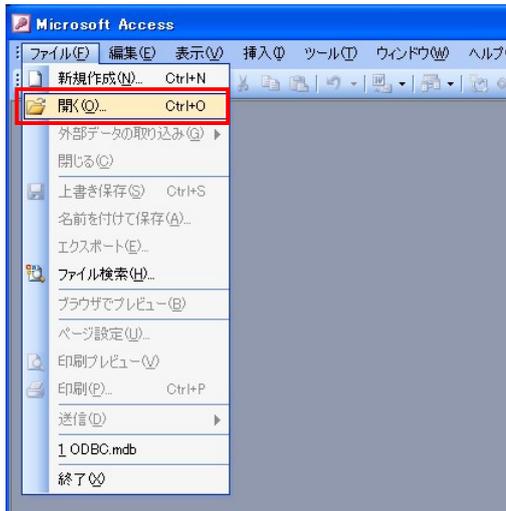


あとはここでレコードの編集を行えます。

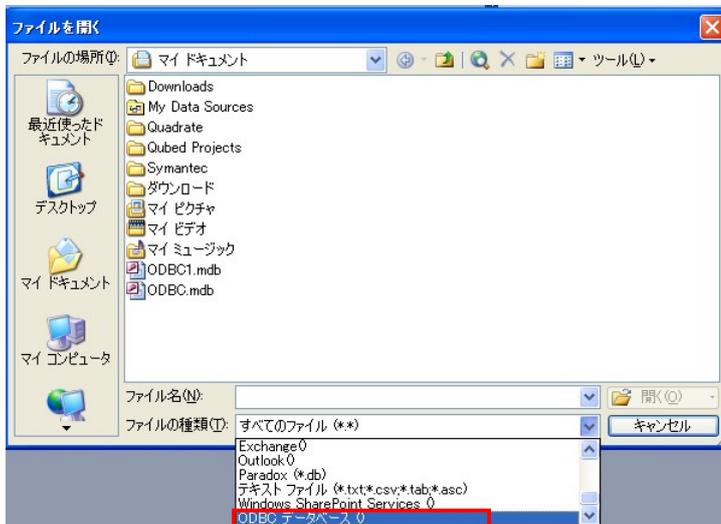


### 3.2. マイクロソフトの「Access」を使用する場合

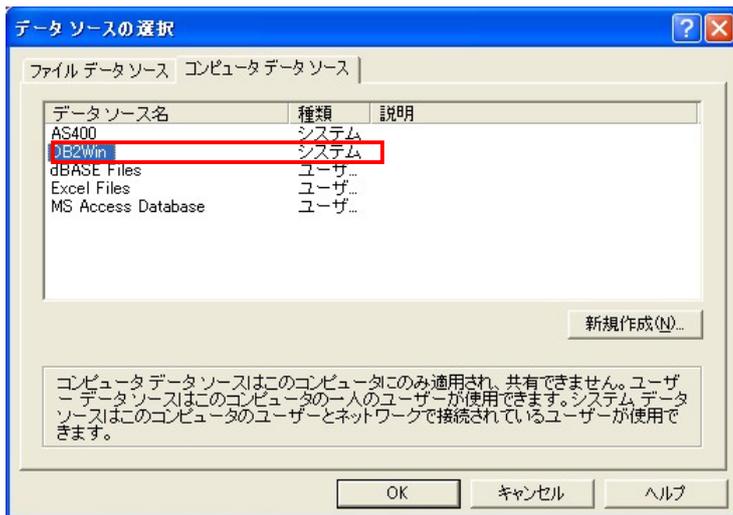
Access を起動し、「ファイル」→「開く」を開きます。



ファイルの種類から「ODBC データベース」を選択します。



データソースの選択ウィンドウが表示されますので、「コンピュータ データソース」タブを選択し、予め作成したデータソースを選択します。



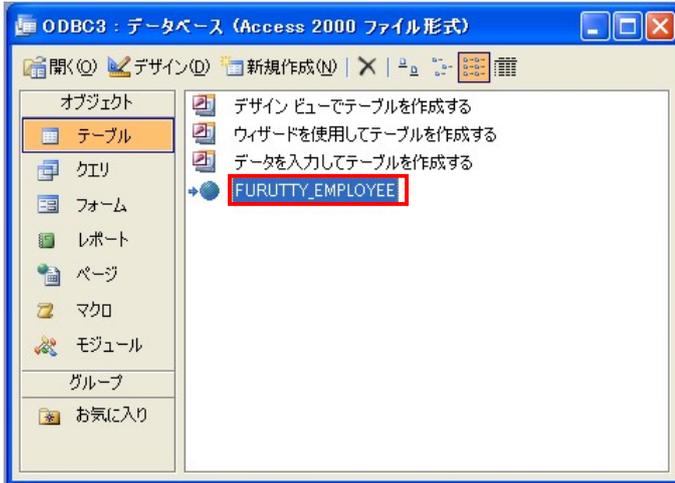
DB2/UDB のログイン ID、パスワードを設定します。



ログインに成功すると、テーブルのリンク画面が表示されますので、対象のテーブルを選択します。



下記の画面が表示されるので、設定したテーブルをダブルクリックします。



データの編集画面が開きます。あとはここでレコードの追加・更新・削除を行えます。

EMPLOYER_ID	EMPLOYER_NAM	DUTY	SUPERIOR	DAY_OF_JOINING	SALARY	COMMISSION	SECTION_ID
7369	伊藤	SE	7902	2000/12/17	180000		20
7499	桜庭	営業	7698	2001/02/20	260000	30000	30
7521	田町	営業	7698	2001/02/22	225000	50000	30
7566	天王洲	部長	7839	2001/04/02	297500		20
7654	小山田	営業	7698	2001/09/28	225000	140000	30
7698	藤原	部長	7839	2001/05/01	385000		30
7782	高橋	部長	7839	2001/06/09	345000		10
7788	藤井	主任	7566	2007/06/13	300000		20
7839	林	社長		2001/11/17	900000		10
7844	川口	営業	7698	2001/09/08	250000	30000	30
7876	長谷川	SE	7788	2007/07/13	210000		20
7900	田中	業務	7698	2001/12/03	195000		30
7902	桜井	主任	7566	2001/12/03	300000		20
7934	田村	業務	7782	2002/01/03	230000	1	10